



ありがとうがいっぱい

学園長 小島 澄人

1年が終わりました。コロナの1年でした。見えない、感じられない、怖いコロナとの戦い、いや共存だった。それでも1年は容赦なく終わりました。

けど、子どもたちは大きくなりました。感謝しかありません。

お母さん、お父さんも頑張りました。毎日の食事、しっかり作ってくれました。洗濯もこなし、掃除もやりました。仕事も、子育てもやりました。コロナは待ってもくれないし、ストップもしてくれない。子どもが熱を出せば心配し、寄り添い、添い寝をする、コロナなんか心配してられない。子どもたちの送り迎え、本当にありがとうございました。みなさんのご協力に感謝いたします。

子どもは卒園し、進級し、大きな夢に向かっていきます。私たち大人はまだまだ我が身のごとく共に進んで行きましょう。子どもは多くの仲間と共に遊び、共に食事をとり、大きくなりました。いろんな野菜も収穫し、いろんな果物をもぎ取り、木にも登ったりしてきました。夢の森自然探検村、柿の実自然探検村、小島の森広場、小野路の農園、いっぱい自然を満喫しました。子ども同士のいざこざがあっても乗り越えたり、仲直りしたり、上手くやっていくすべを学びました。

行事もたくさんありました。運動会もやれました。子どもたちは見てくれているお父さん、お母さんの前で堂々としていました。発表会でもその演技は堂々たるものでした。本当にありがとうございました。

1年間を終えるにあたり、ただただ感謝ばかりです。

コロナはまだですが、来年度はきっと素敵なお年となるでしょう。

